



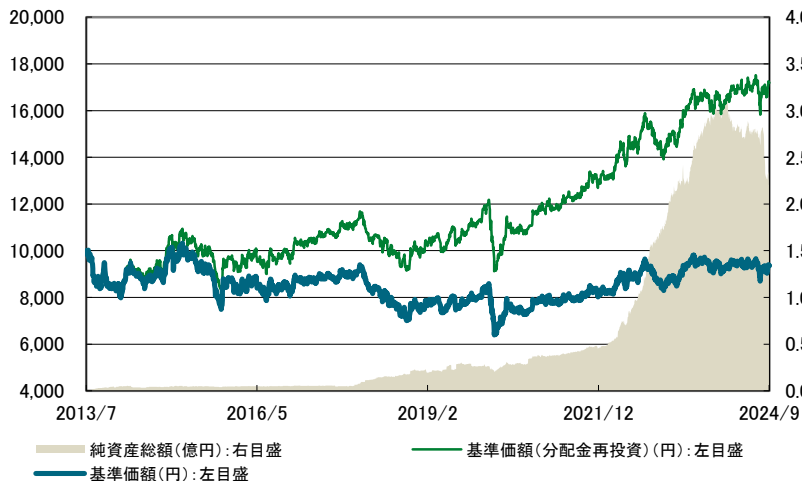
# インドネシア・ルピア債券ファンド(毎月決算型) 《愛称:ルピアボンド》

追加型投信/海外/債券

当初設定日 : 2013年7月12日

作成基準日 : 2024年9月30日

## 基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

## 基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	9,365 円	+ 113 円
純資産総額	2.20 億円	- 0.29 億円

## 期間別騰落率

騰落率	インドネシア・ルピア/円
1ヵ月	1.67%
3ヵ月	-0.49%
6ヵ月	1.60%
1年	3.40%
3年	33.59%
設定来	72.00%

## ご参考

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ インドネシア・ルピア/円レートは、TTMレートを使用しています。

## 分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 5,160 円

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2023年	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円
2024年	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	40 円	-	-	-

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

## 基準価額騰落の要因分析

債券要因	インカム	-
為替	償還に向け、投資対象のマザーファンドを全て売却したため割愛させていただきます。	
分配		
その他		-
合計		-

- ※ 要因分析は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。
- ※ 「インカム」とは、保有債券の利子などの収益です。
- ※ 「キャピタル」とは、債券売買損益および金利変動等の影響による保有債券の評価損益の合計です。

### <本資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。



# インドネシア・ルピア債券ファンド(毎月決算型) 《愛称:ルピアボンド》

追加型投信／海外／債券

当初設定日 : 2013年7月12日

作成基準日 : 2024年9月30日

## 資産の状況

※ 当ページの数値はマザーファンドベースです。償還に向け、マザーファンドを売却しているため、記載を割愛させていただきます。

### 資産内容

債券	-
債券先物取引	-
短期金融資産等	-
合計	-

※ 対純資産総額比です。

### 特性値

残存年数	-
修正デュレーション	-
最終利回り	-
直接利回り	-

※ 修正デュレーションとは債券価格の金利変動に対する感応度(変動率)を表しており、この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※ 利回り(税引前)は純資産総額に対する値、その他は組入債券に対する値です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

### 残存期間別構成比

3年未満	-
3～5年	-
5～7年	-
7～10年	-
10年以上	-

※ 対純資産総額比です。

### 格付別構成比

AAA	-
AA	-
A	-
BBB	-
BB	-
その他	-

※ 対現物債券構成比です。

※ 格付はムーディーズとS&Pのうち、上位の格付を採用しています。

### 組入上位10銘柄

	銘柄名	クーポン	通貨	比率
1	-	-	-	-
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
9	-	-	-	-
10	-	-	-	-

組入銘柄数 : - 銘柄

※ 対純資産総額比です。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



# インドネシア・ルピア債券ファンド(毎月決算型) 《愛称:ルピアボンド》

追加型投信／海外／債券

当初設定日 : 2013年7月12日

作成基準日 : 2024年9月30日

## ファンドマネージャーのコメント

### 【市場動向】

#### <債券市場>

債券市場では、米国の雇用指標が悪化し、FRB(米連邦準備理事会)による利下げ観測が高まったことから、インドネシアの金利も低下(債券価格は上昇)しました。

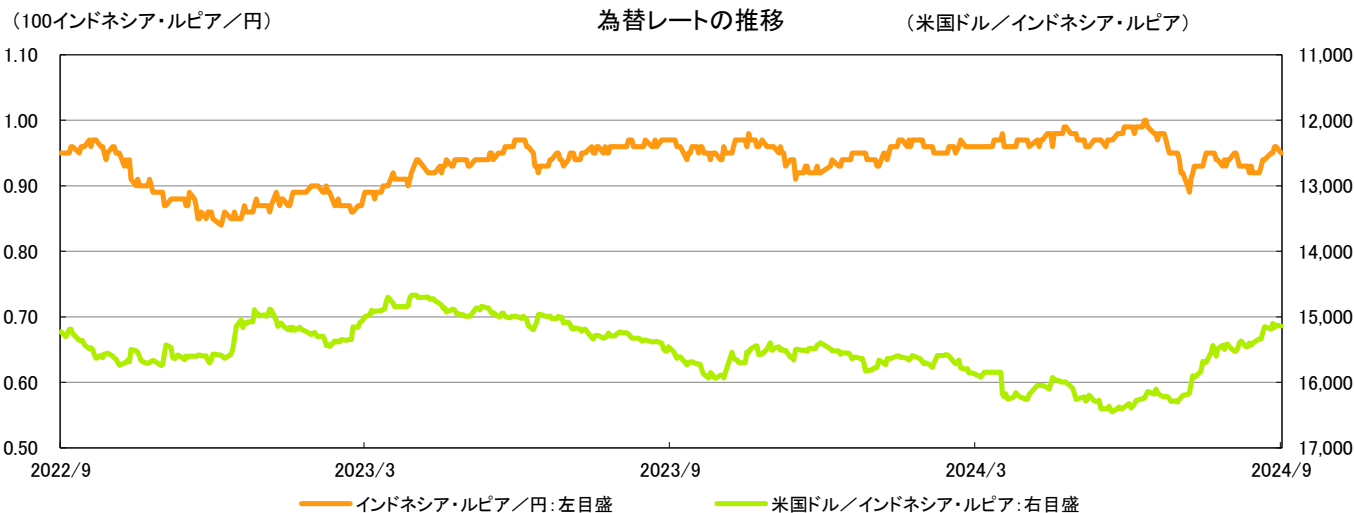
#### <為替市場>

為替市場については、各国中央銀行が利下げを開始する中、日銀は追加利上げを検討していることから、内外金利差の縮小が円高要因となり、月央にかけて対円でインドネシア・ルピアは下落しました。その後、中国政府による景気刺激策の影響で市場のリスク心理が改善したことを受け、インドネシア・ルピアは上昇に転じ、月を通じてみると上昇しました。

### 【今後の見通し】

インフレ鈍化に伴う可処分所得の増加から、家計消費が底堅く推移し景気は底堅く推移すると見込みます。金融政策については、世界的にインフレに落ち着きが見られる中、各国中央銀行が利下げを開始しており、インドネシアにおいても同様にインフレ鈍化の傾向がみられることから、漸進的な利下げが実施されていくものと見込みます。長期金利は、同国中央銀行による利下げスタンスが低下圧力となる一方、米国において雇用環境の悪化をはじめとした景気減速懸念がくすぶっており、リスク心理の悪化に伴う新興国からの資金流出懸念が金利上昇圧力になると見込みます。為替市場では、日銀の追加利上げ観測や新興国からの資金流出懸念から、インドネシア・ルピアの下落圧力が高まる場面が想定されますが、下落時における中央銀行の為替介入観測や、インドネシア景気が底堅く推移することが下支え要因になると見込みます。

## ご参考



※ 上記グラフは信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成しています。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



# インドネシア・ルピア債券ファンド(毎月決算型) 《愛称:ルピアボンド》

追加型投信／海外／債券

当初設定日 : 2013年7月12日

作成基準日 : 2024年9月30日

## ファンドの特色

1. インドネシア・ソブリン・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドネシア・ルピア建てのソブリン債券<sup>※</sup>に投資します。  
※ソブリン債券とは国債、政府機関債、国際機関債等の債券をいいます。
2. 金利水準、経済情勢や市場環境などを勘案してポートフォリオを構築します。

## 投資リスク

### 《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。  
従って、**投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様へ帰属します。**
- **投資信託は預貯金と異なります。**

### 【為替変動リスク】

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

### 【金利変動リスク】

債券の価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。また、発行者の財務状況の変化等及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。債券価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

### 【信用リスク】

有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、又はそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

### 【カントリーリスク】

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、又はそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。また、新興国への投資は先進国に比べ、上記のリスクが高まる可能性があります。

### 【流動性リスク】

時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

### 《その他の留意点》

- 新興国通貨に対して為替取引を行う場合、外国為替予約取引と類似する直物為替先渡取引(NDF)を利用する場合があります。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、基準価額の値動きは、実際の当該対象通貨の為替市場の値動きから想定されるものと大きく乖離する場合があります。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の換金申込が発生し短期間で換金代金を手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。  
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止、取り消しとなる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

### ■投資信託に関する注意事項

- ◆ **投資信託は、預金・貯金ではありません。また、投資信託は、元本および利回りの保証がない商品です。**
- ◆ 当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ 投資信託の申し込みにあたっては、リスクや手数料等を含む商品内容が記載された重要情報シートならびに投資信託説明書(交付目論見書)および一体となっている目論見書補完書面の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- ◆ ゆうちょ銀行各店または投資信託取扱局の窓口での申し込みの際には、重要情報シートならびに投資信託説明書(交付目論見書)および一体となっている目論見書補完書面を、書面交付または電子交付しております。インターネットでの申し込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)および一体となっている目論見書補完書面を電子交付しております。
- ◆ 日本郵便株式会社は、株式会社ゆうちょ銀行から委託を受けて、投資信託の申し込みの媒介(金融商品仲介行為)を行います。日本郵便株式会社は金融商品仲介行為に関して、株式会社ゆうちょ銀行の代理権を有していないとともに、お客さまから金銭もしくは有価証券をお預かりしません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。







インドネシア・ルピア債券ファンド(毎月決算型) 《愛称:ルピアボンド》

追加型投信／海外／債券

当初設定日 : 2013年7月12日

作成基準日 : 2024年9月30日

販売会社



[登録金融機関(販売取扱会社)]  
株式会社ゆうちょ銀行  
関東財務局長(登金)第611号  
[加入協会]日本証券業協会

[金融商品仲介業者]  
日本郵便株式会社  
関東財務局長(金仲)第325号

※ 当ファンドはインターネット専用商品です。ゆうちょ銀行・郵便局(投資信託取扱局)の店頭では、販売・購入に係るお取り扱いを行っておりません。

委託会社・その他の関係法人の概要



■ 委託会社 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社  
(ファンドの運用の指図を行う者)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号

加入協会 : 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ホームページ : <https://www.smtam.jp/>

フリーダイヤル : 0120-668001

受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]

■ 受託会社: 三井住友信託銀行株式会社  
(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)



SMTAM投信関連情報サービス

お客様が指定されたファンドに関する情報(基準価額、レポート)や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。

※LINEご利用設定は、お客様のご判断をお願いします。※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ[SMTAM投信関連情報サービス利用規約]をご確認ください。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



# インドネシア・ルピア債券ファンド(毎月決算型) 《愛称:ルピアボンド》

追加型投信/海外/債券

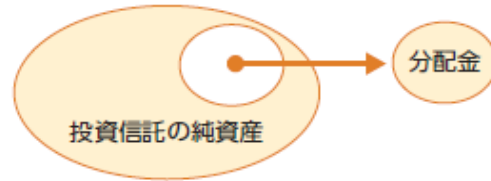
当初設定日 : 2013年7月12日

作成基準日 : 2024年9月30日

## 収益分配金に関する留意事項

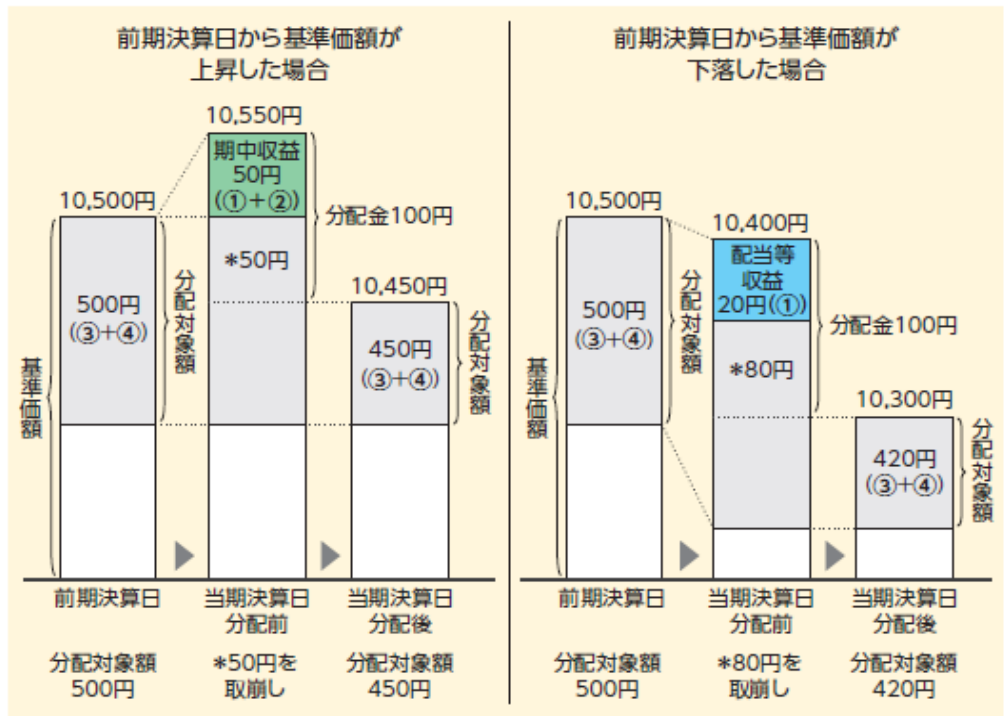
分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

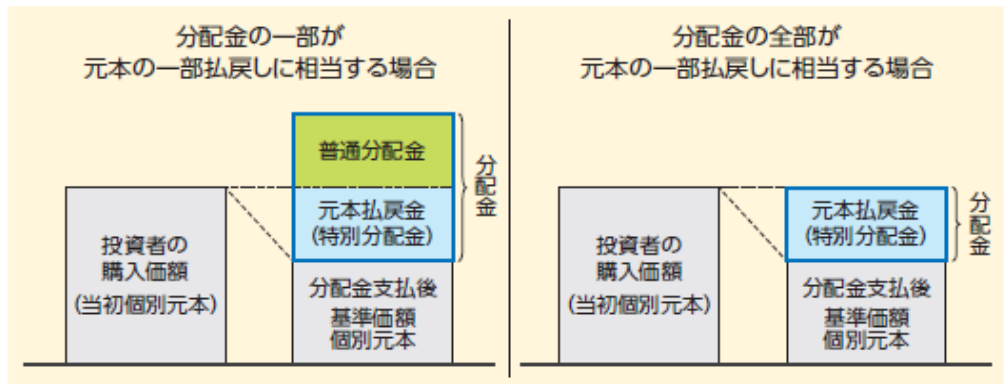
### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。  
分配対象額は、  
① 経費控除後の配当等収益  
② 経費控除後の評価益を含む売買益  
③ 分配準備積立金  
④ 収益調整金  
です。

※右記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆あるいは保証するものではありませんのでご注意ください。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。



**普通分配金** 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「**手続・手数料等**」の「**ファンドの費用・税金**」をご覧ください。

**元本払戻金(特別分配金)** 個別元本を下回る部分からの分配金です。元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、分配後はその金額だけ個別元本が減少します。  
※元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。